

看護学課題研究（在宅看護学）

[研究] 2年 通年 選択 180時間 6単位

《担当者名》竹生礼子 [take-r@hoku-iryo-u.ac.jp]

【概要】

暮らしの場で療養する人々と家族のQOL向上に寄与する課題研究に取り組む。在宅看護学特論・演習等の学修を経て、在宅看護にかかわるテーマを取り上げ、さらに文献検討と臨地実習などを通して研究の課題を明確にする。倫理的配慮に基づいた研究計画の立案、データ収集、分析、考察を行い、一連の研究プロセスを踏むことによって、研究能力を養う。

【学修目標】

1. 研究テーマ、目的を明確化することができる。
2. テーマに沿って、構造的に先行研究の検索及び文献検討を行うことができる。
3. 研究目的に合った研究方法の選択と、一貫性のある研究計画書を作成できる。
4. 研究計画に沿って、データ収集・分析・結果の考察をすすめることができる。
5. 研究論文として形式が整った科学的論文を作成することができる。
6. 研究成果をわかりやすく発表し、質疑に適切に回答することができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
	【研究課題の範囲】	在宅看護学の研究においては、以下の課題が想定される。 在宅における医療依存度の高い療養者のケアに関すること 在宅における終末期ケア・看とりに関すること 訪問看護、外来看護、地域連携室に関すること 療養者の家族、介護者に関すること 継続看護・退院支援に関すること 地域における多職種連携に関すること 在宅ケア事業所の運営管理に関すること 在宅ケアシステムの構築や社会資源の活用に関すること	竹生
	【スケジュール】	<1年> 4-8月 研究課題の検討 文献検討 9-12月 研究課題の絞り込み 1-2月 リサーチクエスションの明確化 研究課題の明確化のためのフィールドワーク（臨地実習） 2月 研究計画案作成 中間報告会 <2年> 4月 研究計画書の作成・提出 5月 データ収集準備 6~7月 データ収集 8~9月 データ分析と結果・考察 10~11月 論文執筆 12月 論文提出	

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

研究の準備、取り組み姿勢（30%）、最終審査試験の評点（70%）

【教科書】

指定なし

【参考書】

適宜選択する

【学修の準備】

実践の中からとらえた疑問、問題意識（クリティカルクエスチョン）を研究ノートに記述しておくこと。関連の文献を精読し簡潔にまとめておくこと。研究をすすめるために、自己の課題に主体的にとりくみ学修をすすめること。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、看護学における高度な専門性と研究能力を修得するという看護学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。